

## 行政報告の主な内容（9課25項目）

(1) 総務課	執行体制
	国の栄典関係受章
	指定管理者の運営状況
	防災関係（国民保護協議会設置） （石狩川水防公開訓練） （十勝岳噴火80周年関係）
	カムローズ高校一行来町
	静修地区「開拓100周年式典」
	住民参画制度（パブリックコメント） （出前講座）
(2) 行政改革推進事務局	行財政改革の取組み状況
	広域行政の取組状況
(3) 企画財政課	自衛隊関係要望、行事等
	基地協議会関係
(4) 税務課	町税等の滞納対策
(5) 保健福祉課	障害認定審査会の広域設置
	東中へき地保育所の閉鎖
	ケアハウスの民間移譲
	子どもセンター運営状況
	国保ヘルスアップ事業
(6) 町民生活課	合併浄化槽設置事業
(7) 産業振興課	農作物の生育状況
	観光関係（テレビドラマロケ）
(8) 町立病院	泌尿器科の診療状況
(9) 教育振興課	郷土館再開
	地域子ども教室
	上富良野高等学校関係
(10) 総務課	建設工事の発注状況

## 行政報告

(平成18年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

さて、5月28日深夜から29日にかけて発生した強風により、学校施設や社会教育施設の一部で、屋根のトタン剥離や看板の破損など、概算で150万円程度の被害がありました。農業関連では、178棟の園芸用ハウスの破損をもたらし、農作物被害と合わせて、概算被害額は、6,200万円になるものと見込まれます。

被害を受けられました農業者の皆様に、まずもって心よりお見舞い申し上げます。

### (総務課行政報告)

はじめに、本年度4月からの執行体制であります。定年退職者など10名の欠員については、町立病院の看護職2名の採用にとどめ、昨年度から8名減の213名による執行体制としているところであります。収入役については、助役において兼掌を継続し、職員の減員分については、事務処理の簡素効率化とともに、外部委託や定数外職員による対応を図ったところであります。

あわせて、「笑顔のあいさつと思いやり」をテーマとして、職員の待遇改善に取り組むこととし、その一環として、町民の皆様に職員の待遇について、率直にご意見を伺うため、アンケート調査を5月1日より開始しました。

町民の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、一層の待遇改善と、町民との信頼関係構築につなげてまいりたいと考えています。

次に、国の栄典関係であります。4月29日発令の危険業務従事者叙勲において、

たかのひこゆき えじまのぶひろ すぎもとまさる ろっぼんぎたいぞう あさくらたかし  
高野彦幸氏、江嶋信弘氏、杉本勝氏、六本木大三氏が瑞宝双光章を、朝倉崇  
あらいのぼる いとうちから おおみなとおさむ せだかつみ つるまるいさお まつぎきじゅんご  
氏、荒井昇氏、伊藤力氏、大湊治氏、瀬田克己氏、鶴丸勲氏、松崎順伍  
氏が瑞宝単光章を、また春の褒章では菅野<sup>すがのしょうこう</sup>祥孝氏が紺綬褒章を受章されました。

受章されました皆様の、これまでの功績に敬意を表するとともに、町といたしましてお祝い金を贈呈したところであります。

次に指定管理者による、公の施設の管理運営についてですが、日の出公園関連施設及び吹上温泉保養センターの2施設は、「株式会社 上富良野振興公社」と、パークゴルフ場は、「株式会社 シー・エス・ティ」と3月末までに協定を締結し、4月1日から2者による運営を開始しました。

今後は、制度の趣旨にある利用者のサービス向上と管理経費の効率化が、一層進むことを期待するところであります。

次に防災関係についてですが、平成18年第1回定例会でご議決いただいた「上富良野町国民保護協議会条例」に基づき、4月1日付けで21名の委員を任命し、法律の定めによって私が会長に就く、22名構成の上富良野町国民保護協議会を組織したところであります。

近く、第1回協議会を開催し、上富良野町国民保護計画の策定について諮問する予定となっております。

また、石狩川水系が担当した本年度の公開水防演習が、北海道、北海道開発局及び本町を含めた上川管内水系14市町村の主催で、6月17日旭川市で実施されました。

本町からは助役が私を代理し、多数の一般見学者の見守る中で、副統裁として、607人が各種職種別に参加する実働演習の運営に当りました。

なお、本町からは、上富良野消防団15名が水マット工の部門で参加したところで

あります。

また本年は、大正15年の十勝岳噴火による泥流災害から80周年に当たることから、町としては、被災日の5月24日に、開拓歴史広場に献花台を設置し、午後4時から現地で関係者25名の参列をいただき、追悼式を行いました。

あわせて、4時15分には、防災無線の全町放送を通じて、町民一同による黙祷によって、被災者の追悼と防災への決意を新たにしたところであります。

さらに、郷土をさぐる会など民間の方々を中心に、実行委員会が組織され、5月20日から28日まで、郷土館と公民館を会場に「十勝岳大噴火泥流災害80周年回顧展」が開催されました。

期間中、町内外から1,450人の来場者を迎えて、盛会のうちに終了したところであります。

次に、カムローズ高校一行の来町についてですが、友好都市カムローズ市から、カムローズ・コンポジット・ハイスクールのマックス・リンドストランド校長を団長とする一行50名が、3月30日から3泊4日の日程で、来町されました。

受け入れにあたっては、国内外交流の会と実行委員会を組織するとともに、町内23のご家庭がホストファミリーとしてご協力いただき、対応したところであります。

滞在中は、歓迎レセプションをはじめ、日本文化や温泉体験などを通し交流を深められ、無事ご帰国いただいたところであります。

次に、静修地区の開拓100周年についてであります。静修地区に開拓の鍬が下ろされて100年を迎えることから、地区住民の皆様の手によって、記念碑が建立されました。

4月3日に、その除幕式とあわせて、記念式典のご案内をいただきましたので、地区の皆様とともに、先人の労苦への感謝とあわせて、今後の地区の繁栄をご祈念申し上げたところであります。

次に、住民参画の取組みについては、パブリックコメントを昨年度より制度化し、また出前講座を昨年10月より開設したところであります。

平成17年度におけるパブリックコメントは、「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置に関する条例(案)」など、5事案について実施し、8人・1団体の方から、延べ28件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の概要や、実施結果については、広報かみふらの及び行政ホームページに公表し、情報共有を図ったところであります。

また、出前講座については、昨年度中に4団体、今年度に入ってから既に4団体から申し込みがあり、これまで6講座を開設し、延べ142名の参加をいただきました。

パブリックコメントも、出前講座も町民の皆様の参加があって成り立つ制度です。今後とも、皆様の積極的な参加、活用をお願いしたいと存じます。

#### (行政改革推進事務局行政報告)

次に行財政改革に向けた取組みについてですが、国が示した新地方行革指針を参考に、より明確な数値目標等を、現行の行財政改革実施計画に追加したところであり、引き続き計画に沿った着実な実践に、努めてまいりたいと考えています。

平成17年度の実践状況については、新職員数適正化計画の策定、新給料表の導入、特別職の報酬改定、収入役制度の廃止など、組織体制の縮小見直しと、人件費抑制に取り組むとともに、指定管理者制度の導入や、ケアハウスの民間移譲など民間活力の活用、また町税等の徴収対策の強化などを進めてまいりました。

さらに町民の皆様には、受益者負担の適正化として、各種手数料の見直しのほか、

補助金・負担金の整理合理化にご協力をいただきました。

その結果、平成 18 年度予算に反映した効果額は、人件費分の 2 億 2,300 万円を含め、4 億 4,950 万円となり、平成 16 年度の実績額とあわせて、2 年間で約 6 億 3,300 万円の効果となりました。

しかし、7 月に予想される国の骨太方針による地方交付税の削減問題や、国から地方への税源移譲の見通しがつかないという、地方自治体の現状を見ると、行財政改革を着実に推進していかなければならないと考えておりますので、町民皆様のご協力を、なお一層お願いしたいと存じます。

次に広域行政につきましては、第 1 回定例会後の 3 月 23 日に、「自治のかたち検討プロジェクトチーム」から、広域圏振興協議会委員会へ最終報告書の提出を受けました。将来の富良野圏域の自治のかたちとして、報告書では「市町村連携」「広域連合」「市町村合併」「広域都市」の 4 つの選択肢が示されております。

広域圏振興協議会委員会では、それぞれの市町村において、報告内容を住民に説明するとともに、住民の声をもち寄り、今後の方向性を見出すことを、申し合わせたところであります。

本町では、最終報告書を町ホームページに掲載したほか、情報提供コーナーへ資料を収蔵し、概要版を町広報紙とともに町民の皆様へ配布いたしました。

4 月には、町議会議員、住民会長の皆様に説明会を開催するとともに、町職員に対しては、研修会を通じて情報共有を図ってきたところであります。

さらに、5 月 10 日から 6 月 6 日までの間に、町内 7 箇所で「まちづくりトーク」を開催し、52 名の参加者から貴重なご意見をお聞きすることができました。

今後については、寄せられたご意見を参考に、議員各位と議論を深め、7 月下旬に予定されている広域圏振興協議会委員会において、その方向性を模索していくとともに、町民の皆様へは、随時その状況をお知らせしてまいりたいと存じます。

### ( 企画財政課行政報告 )

次に自衛隊関係であります。6月1日に防衛庁陸上幕僚監部の防衛部長を訪問し、自衛隊の削減に対する上富良野駐屯地の現状維持の要望を行ってまいりました。

自衛隊記念式典関係では、5月27日に北部方面後方支援隊創立51周年記念式典、翌日には第7師団創隊51周年記念式典、6月10日には第2師団管内殉職者自衛隊員追悼式に、翌11日には第2師団創立56周年記念式典に出席しました。

なお、6月17日第3地对艦ミサイル連隊12周年記念行事、翌18日には上富良野駐屯地創立51周年記念式典が行われ、多くの町民と共に祝いすることができました。

次に、基地協議会関係であります。4月に上富良野基地協議会の周辺整備事業の要望を上富良野駐屯地、旭川第2師団、北部方面総監、札幌防衛施設局に、それぞれ構成団体長の同行のもと要望運動を行いました。

また、5月25日北海道基地協議会総会が美幌町で開催され出席してまいりました。

### ( 税務課行政報告 )

次に町税等の滞納対策についてですが、平成17年度においては、預金調査323件、給料支払調査23件、町外者実態調査67件の、滞納者に対する財産調査等を実施して、延べ47件の差押えを執行し、366万円の換価収納をいたしました。

また、管理職全員による滞納プロジェクトを3回実施し、延べ307名(うち上下水道料対象者104名)の臨戸訪問徴収により、町税705万円、上下水道料76万円の徴収をいたしました。

さらに、夜間・休日納税相談窓口を3回設置して、日中納税ができない町民のための、収納サービスの向上に努めるとともに、夜間・休日納税相談日に併せて、滞納者延べ237名の呼出し催告を行い340万円を徴収するなど、さまざまな収納対策を講じ

て、税収の確保に努力してきたところであります。

3月末現在の滞納繰越分の収納率は、町税で33.8%、国保税で29.5%となっており、前年比では町税で13.3%、国保税で14.4%収納率が向上したところであります。

### （保健福祉課行政報告）

次に昨年11月に制定された障害者自立支援法に基づく、障害認定に関わる審査会の設置についてですが、広域による共同設置の基本的合意ができましたことから、その検討を進めてきたところであります。

既に共同設置しております介護認定審査会に、障害認定を専門とする委員5名による一合議体を増設することで、富良野地方5市町村における、本年10月からの給付に要する認定作業を、進めることといたしたく、今定例会に規約の変更と、運営等に要する関係予算補正を上程いたしております。

次に、平成18年第1回定例会で、廃止のご議決をいただきました東中へき地保育所につきましては、3月25日平成17年度の入所者修了式後、地域をはじめ、多くのゆかりの方々のご参列をいただき、閉所式を挙行し、昭和33年の開設から47年間の運営に幕を下ろしました。

これまでの間、地域をはじめ、多くの関係の皆様のご協力に厚く感謝を申し上げます。

なお、本施設につきましては、今後、地域活動の場として利用することが、地域とも合意に達しておりますことから、7月からの利用を目指し、内部の一部改修等を現在実施しております。

次に、高齢者福祉の担い手育成や、効率の高い福祉活動などを基本に、議会の深いご理解のもと決定をいただきました、ケアハウスの民間譲与につきましては、本年4



月1日付けをもって、無事全ての委譲事務を終え「社会福祉法人 わかば会」による運営が開始されました。

今後、民間ならではのサービス提供を基に、安定した運営がなされることに、大きく期待しているところであります。

次に、子どもセンターの管理運営状況であります。利用者から要望のありました網戸の設置のほか、職員による一部塗装作業などにより、少しでも明るい環境づくりを施し、利用の推進に努めているところであります。

また、療育活動や子育て支援活動に欠くことのできない屋外遊具の整備につきましては、東中僻地保育所の遊具の一部を移設するほか、町民の方から高額なご寄付を頂戴いたしましたことから、今定例会に補正提案させていただき整備を進めたいと考えております。

次に国保ヘルスアップ事業関係であります。町の医療費を分析したところ、国保の医療費19億円の74.4%が高血圧・糖尿病等から引き起こされた、心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病でした。

この疾病の予防と改善を目的に、国保ヘルスアップ事業では、生活習慣病予備軍を対象として、生活習慣改善のための、個々の実践を支援しました。

その結果、例年みられる冬季の大幅な体重増加を防ぎ、さらに内臓脂肪の減少・基礎インスリン量の減少・血液データの改善等が多く見られました。

今年度は7月の健診に向け、20歳以上の国保対象者に、個別に循環器健診の案内送付を行い、若年者の健診受診率向上と、生活習慣病予防に向けた取り組みを強化してまいります。

### (町民生活課)

次に、合併浄化槽設置事業であります。本年度の計画設置数 5 人換算 27 基に対して、対象者 625 名の方に設置希望調査を行ったところ、36 件の希望がありましたので、優先順位を新築、介護改築、一般改築、単独浄化槽設置改修と定めて、審査した結果、最終的に新築 1 件、介護改築 1 件、一般改築 20 件、単独浄化槽設置改修 1 件の合計 23 件の設置を決定したところであります。

### (産業振興課行政報告)

次に、農作物の生育状況についてですが、今年は融雪の遅れに、4 月の低温、日照不足が重なり、耕起作業に遅れが出ましたが、5 月に入り好天に恵まれたことから、水稲においては 5 日遅れ、畑作においては、ビート、馬鈴薯、豆類等で、2 日から 5 日遅れで播種・定植作業を終了しております。

その後の好天にも恵まれ、生育の遅れを取り戻しているところであり、このまま順調に天候が推移し、豊穣の秋が迎えられることを願っているところであります。

次に観光関係では、HTB 北海道テレビの制作で、上富良野町を舞台にした、全国ネットのテレビドラマのロケが、7 月中旬から 10 日間程の予定で行われる旨の、申し入れを受けました。

脚本は前川<sup>まえかわ</sup>洋一<sup>よういち</sup>さん、出演は大泉<sup>おおいずみ</sup>洋<sup>よう</sup>さん、高野<sup>たかの</sup>志穂<sup>しほ</sup>さん、前田<sup>まえだ</sup>吟<sup>ぎん</sup>さん、倍賞<sup>ばいしょう</sup>美津子<sup>みつこ</sup>さん、大滝<sup>おおたき</sup>秀治<sup>ひでじ</sup>さん等であり、内容は、ビールの原料となるホップと大麦を栽培する農家の思いと家族の絆を描いたドラマであります。

放映は 9 月 2 日の予定と聞いておりますが、本町を舞台としたテレビドラマが、多くの視聴者に感動を与え、ロケ地の景観などに憧れを持ち、来訪者の増につながることに大きな期待を抱き、町として出来るだけの支援協力をしたいと考えております。

### （町立病院行政報告）

次に、昨年10月に開設した泌尿器科診療の、平成17年度末の診療状況についてですが、診療回数は13回で、630名の受診者がありました。1回当りの受診者数は、平均で48.5人と当初予想を上回る患者が受診されたところです。

今年度におきましても、引き続き富良野協会病院の協力をいただけますので、より受診しやすい環境整備に努めてまいりたいと思っているところであります。

### （教育振興課行政報告）

次に、昨年8月より休館中でありました郷土館は、アスベスト除去工事が4月14日に終了したことから、展示物の陳列を、改めて整えたところであります。

再開にあたっては、今年度が十勝岳の大正噴火から80周年に当たることから、十勝岳大噴火泥流災害80周年記念回顧展実行委員会による、記念事業と歩調を合わせて、被災コーナーの特別展示を行い、町内外より多くの人達に来館いただきました。

さらに、5月24日には、小説「泥流地帯」作者の故三浦綾子氏のご主人であります、<sup>みうらみつよ</sup>三浦光世氏にお越しいただき、社会教育総合センターにおいて講演会を開催しました。

次に、上富良野町地域子ども教室についてであります。放課後の「子どもの居場所づくり」として、本年度当初に、町内小学校児童数697名のうち、約30.5%にあたる212名の登録がありました。

今年度は、学校固定型をこれまでの月曜日から木曜日に金曜日も加え、上富良野小学校及び上富良野西小学校で実施しております。

次に上富良野高等学校についてであります。このたび北海道教育委員会が公表した「新たな高校教育に関する指針」の素案によりますと、現行の1学年2学級では、

再編の対象となることが懸念されることから、町民総意で上富良野高等学校の存続を求めるため、署名活動を展開し、中富良野町民にも支援をいただいたなかで、合わせて8,421名に及び署名の成果を、5月30日に、議長をはじめ、教育委員長、同窓会長、PTA会長、さらに中富良野町より、町長や副議長、教育長にもご同行いただき、北海道教育委員会及び北海道知事、北海道議会に提出し、上富良野高等学校の存続を強く訴えてまいりました。

このような状況下において、5月25日に報道された、上富良野高等学校元事務長による公金着服事件は、極めて残念な出来事でありました。

元事務長が上富良野高校へ着任した、平成15年度以降の道費及び団体会計において、金銭着服事実が判明したものでありますが、5月19日には学校長より、町及び町教育委員会にも、書面での報告を受けたところであります。

町が上富良野高校振興策として補助している「上富良野高等学校教育振興会会計」において、平成15年度会計決算に不正があった旨の内容でありましたので、事実関係を確認し、過日、教育振興会から補助金の一部返還を受けたところであります。

今後は、このような不祥事が発生することのないように適切な経理の指導を十分徹底してまいります。

#### (総務課行政報告)

最後に建設工事の発注状況についてですが、本年度入札執行した建設工事は、6月15日現在で、今定例会に上程の1件分を含め、件数で20件、事業費総額で2億1,463万500円となっております。

また、4月1日付で、今年度発注予定の建設工事45件の情報について、公開するとともに、今年度より入札の公開を積極的に進めるよう、入札執行情報を情報提供コーナー等に開示することといたしました。

なお、お手元に「平成18年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。